〔申請様式第3号〕

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 船舶登録・船舶国籍証書書換等申請書 | | | | | | | | | | |
|  | １　申請の  区分 | | □　①新規登録  □　②変更登録及び船舶国籍証書の書換  □　③船舶国籍証書の再交付  □　④英語記載の追加又は変更  □　⑤抹消登録 | | ２  船舶の番号  及び信号符字 | | | |  |  |
|  | | ＩＭＯ  番号 | |  |
| （ふりがな）  ３　船　　　　　　名 | | |  | | | | | |
|  | ローマ字表記 | |  | | | | | |
| （ふりがな）  ４　船籍港 | | |  | | | | | |
|  | ローマ字表記 | |  | | | | | |
| （ふりがな）  ５　所有者の氏名又は  名称及び住所 | | |  | | | | | |
|  | ローマ字表記 | |  | | | | | |
| （ふりがな）  ６　造船地及び造船者 | | |  | | | | | |
|  | ローマ字表記 | |  | | | | | |
| ７　変更事項 | | | 新 | | | | 旧 | |
|  | | | |  | |
| ８　申請の原因 | | |  | | | | | |
| ９　船舶国籍証書の英語記載の追加又は変更 | | | | | 追加　　・　　変更 | | | |
| 年　　　月　　　日  住所  申請者  氏名又は名称  九州運輸局長　殿 | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | | |

（日本工業規格Ａ列４番）

〔手数料様式第１号〕

|  |
| --- |
| 登録（測度）手数料納付書  年　　　月　　　日  　　　九州運輸局長　殿  （申請者の氏名又は名称及び住所）    下記船舶の　　※　　　　　　　　手数料　　　　　　　　円を納付します。  記  　１．船　　名  　２．総トン数  収 入 印 紙 貼 付 欄 |

注　※印の箇所には、次の事項のうち、納付しようとする事項を記載してください。

イ　新規登録

ロ　管外転籍

ハ　変更登録

二　抹消登録

ホ　新規測度

へ　全部測度（上甲板下全部、区分甲板下全部又は船体主部全部の別）

ト　一部測度

〔手数料様式第２号〕

|  |
| --- |
| 証書交付・再交付・書換手数料納付書  年　　　月　　　日  　　　九州運輸局長　殿  （申請者の氏名又は名称及び住所）    下記船舶の　　※　　　　　　　　手数料　　　　　　　　円を納付します。  記  　１．船　　名  　２．総トン数  収 入 印 紙 貼 付 欄 |

注　※印の箇所には、次の事項のうち、納付しようとする事項を記載してください。

イ　船舶国籍証書交付

ロ　船舶国籍証書再交付

ハ　船舶国籍証書書換

ニ　船舶国籍証書交付（英語併記）

ホ　船舶国籍証書再交付（英語併記）

ヘ　船舶国籍証書書換（英語併記）

ト　仮船舶国籍証書交付

チ　仮船舶国籍証書再交付

リ　仮船舶国籍証書書換

ヌ　仮船舶国籍証書交付（英語併記）

ル　仮船舶国籍証書再交付（英語併記）

オ　仮船舶国籍証書書換（英語併記）

【備考】船舶登録・船舶国籍証書書換等申請書〔申請様式第3号〕

１　申請の区分は、①から⑤までのうちから選択すること。

１－２　新規登録、変更登録及び船舶国籍証書の書換又は船舶国籍証書の再交付の申請の際に、英語記載の追加の申請を

併せて行うことができる。

１－２－１　新規登録の申請に際し、英語併記の船舶国籍証書の交付を希望する場合は、申請区分の「①新規登録」を選

択し、「９船舶国籍証書の英語記載の追加又は変更」の区分の「追加」に○印を付すこと。

１－２－２　変更登録の申請に際し、新たに英語併記の船舶国籍証書の交付を希望する場合は、申請区分の「②変更登録

及び船舶国籍証書の書換」を選択し、「９船舶国籍証書の英語記載の追加又は変更」の区分の「追加」に○印を

付すこと。

１－２－３　変更登録の申請に際し、既に英語併記の船舶国籍証書を受有している場合には、申請区分の「②変更登録及

び船舶国籍証書の書換」を選択し、「９船舶国籍証書の英語記載の追加又は変更」の区分の「変更」に○印を付

すこと。

１－２－４　船舶国籍証書の再交付の申請に際し、新たに英語併記の船舶国籍証書の交付を希望する場合は、申請区分の

「③船舶国籍証書の再交付」を選択し、「９船舶国籍証書の英語記載の追加又は変更」の区分の「追加」に○印

を付すこと。

１－３　現在、受有している船舶国籍証書を英語併記の船舶国籍証書にしようとする場合又は現在、受有している英語併

記の船舶国籍証書の記載事項を一部変更する場合（変更登録を行わない場合。例えば、「Kabushikikaisya」を

「Company」、「Co,Ltd」に変更する場合等。）には、申請区分の「④英語記載の追加又は変更」を選択すること。

２　必ず船舶の番号を２の欄に記載すること。ただし、新規登録の申請を行おうとする場合（番号及び信号符字の内定を

受けている場合を除く。）には空欄とする。

２－２　ＩＭＯ番号が付与されている船舶について、登録の申請をする場合には、船舶の番号とともにＩＭＯ番号を記載すること。

３　船名は、申請の区分が「①新規登録」、②「変更登録及び船舶国籍証書の書換」（船名変更の場合に限る。）、「③船舶国

籍証書の再交付」（再交付に併せて英語併記の船舶国籍証書の交付を希望する場合に限る。）又は「④英語記載の追加又

は変更」の場合、３の欄に必ず記載し、漢字及びローマ字の船名にあってはふりがなを付記すること。また、船名の変更の場合には、変更後の船名を記載すること。

３－２　上記３の場合において、英語併記の船舶国籍証書の交付、書換、再交付、追加又は変更を希望する場合には、船

名のローマ字による表記（英語表記を含む。）を記載すること。

３－３　船名と同一の音の英語表記を船体に表示しており、かつ、その事実が証明できるときには、ローマ字による表記

に代えて現に船体に標示している英語による表記を用いることができる。（船名変更しようとする場合にまた同じ。）

４　船籍港は、申請の区分が「①新規登録」、②「変更登録及び船舶国籍証書の書換」（船籍港変更の場合に限る。）、「③船

舶国籍証書の再交付」（再交付に併せて英語併記の船舶国籍証書の交付を希望する場合に限る。）又は「④英語記載の追

加又は変更」の場合に、４の欄に記載し、ふりがなを付記すること。船籍港の変更の場合には、変更後の船籍港を記載

すること。

４－２　上記４の場合において、英語併記の船舶国籍証書の交付、書換、再交付、追加又は変更を希望する場合には、船

籍港のローマ字による表記を記載すること。

５　所有者の氏名又は名称及び住所は、申請の区分が「①新規登録」、②「変更登録及び船舶国籍証書の書換」（所有者の

氏名又は名称及び住所の変更の場合に限る。）、「③船舶国籍証書の再交付」（再交付に併せて英語併記の船舶国籍証書の

交付を希望する場合に限る。）又は「④英語記載の追加又は変更」の場合に、５の欄に記載し、ふりがなを付記すること。

所有者の氏名又は名称及び住所の変更の場合には、変更後の所有者の氏名又は名称及び住所を記載すること。

５－２　上記５の場合において、英語併記の船舶国籍証書の交付、書換、再交付、追加又は変更を希望する場合には、所

有者の氏名又は名称及び住所のローマ字による表記を記載すること。

５－３　船舶が共有であるときの所有者の氏名又は名称及び住所は、申請の区分が、「①新規登録」又は「④英語記載の追

加又は変更」の場合には、所有者全員について記載すること。なお、共有者が多数の場合には、別紙を添付するこ

とができる。

５－４　上記５－３以外の申請の区分の場合には、船舶が共有であるときの所有者の氏名又は名称及び住所については、

持分筆頭者のみについて記載し、持分筆頭者以外の所有者について「外何人」と記載することができる。なお、持

分筆頭者が、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の場合にあっては、次に持分の多い所有者を記載する

こと。

５－５　定款等により英語による名称を定めていることが証明されるときには、ローマ字による表記に代えて、英語によ

る表記を記載することができる（所有者の氏名又は名称を変更しようとする場合にまた同じ。）。

５－６　申請の区分「①新規登録」又は「④船舶国籍証書の英語記載の追加又は変更」の区分の「追加」を申請しようとする場合には、共有者の氏名又は名称及び住所（ローマ字による表記を含む。）については、別紙を添付することができる。

６　造船地及び造船者は、申請の区分「①新規登録」又は「④英語記載の追加又は変更」の場合に、６の欄に記載し、造

船地及び造船者には、ふりがなを付記すること。

６－２　上記６の場合において、英語併記の船舶国籍証書の交付、追加又は変更を希望する場合には、造船地及び造船者のローマ字による表記を記載すること。

６－３　定款等により英語による名称を定めて国内の造船者であることが証明される場合、又は外国の造船者の場合には、

ローマ字による表記に代えて、英語による表記を記載することができる。

７　申請の区分の「②変更登録及び船舶国籍証書の書換」を申請しようとする場合には、７の欄に新旧事項をともに記載

すること。変更事項が、船名、船籍港又は船舶所有者の氏名若しくは名称及び住所の場合には、ふりがなを付記するこ

と。

７－２　申請の区分「④英語記載の追加又は変更」の区分の「追加」を申請しようとする場合には、新の欄に記載した新

たな事項（船名、船籍港又は船舶所有者の氏名若しくは名称及び住所に限る。）について、ローマ字による表記を付

記すること。この場合に、３－３又は５－２により英語による表記を記載できる場合に該当するときは、当該英語

による表記を付記することができる。

７－３　変更事項については、別紙様式による変更事項新旧対照表を添付することができる。

８　申請の原因の欄は、「新造」、「○○国○○社から買受け」、「○○国○○氏から買受け」、「改造」、「修繕」、「売買により

所有者変更」、「所有者の住所変更」、「毀損」、「英語記載の追加」、「英語記載の変更」、「沈没」、「滅失」、「解撤」、「○

○国○○社に売渡し」、「○○国○○氏に売渡し」等を記載すること。

８－２　海外売船等により旗国が日本以外の国となったことにより抹消登録を申請する場合には、申請の原因の欄に新し

い旗国（新しい旗国が未定又は不明の場合には、売却した国名）を付記すること。

９　申請の区分「④英語記載の追加又は変更」を選択しない場合には、ローマ字（英語表記を含む。）による表記の記載を

要しない。